

平成27年度 第1回

希望郷いわてモニターアンケート

いわての森林づくり県民税に関する意識調査 報告書

岩手県農林水産部林業振興課

I アンケート調査の概要

1 調査課題名

いわての森林づくり県民税に関する意識調査

2 調査の趣旨

県では、平成18年度から「いわての森林づくり県民税」を導入し、今まで十分な管理が行き届かず、放置されてきた公益上重要な森林で間伐を行い、公益的機能を回復させるための針葉樹と広葉樹が入り混じった“針広混交林”への誘導や、県民の方々が地域で主体的に行う森林を守り育てる活動の支援や多様な森林環境学習機会の提供などを行ってきました。

この県民税は、平成27年度で実施予定期間の最終年度を迎えますが、県民の皆様から、いわての森林づくり県民税の取組内容や今後（平成28年度以降）のあり方等についての御意向・御意見をお伺いし、今後の本県の森林環境保全に向けた施策に役立てるものです。

3 調査期間

平成27年5月19日（火）～6月2日（火）

4 調査方法

調査紙郵送法及びインターネット

5 調査対象

平成27年度希望郷いわてモニター 295名

6 回答者数

245名

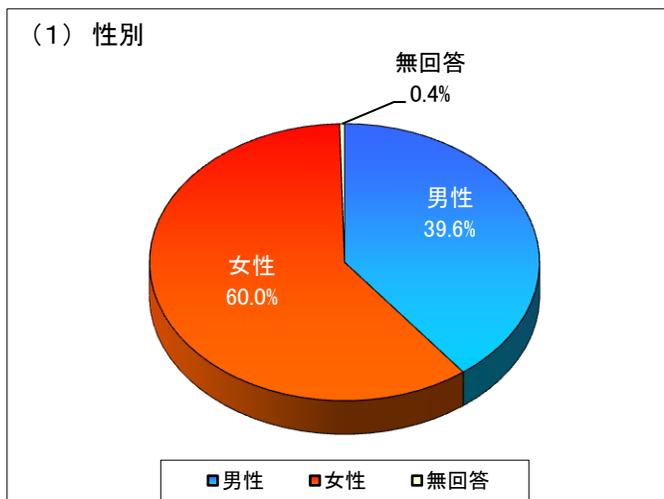
7 回答率

83.1%

8 回答者内訳

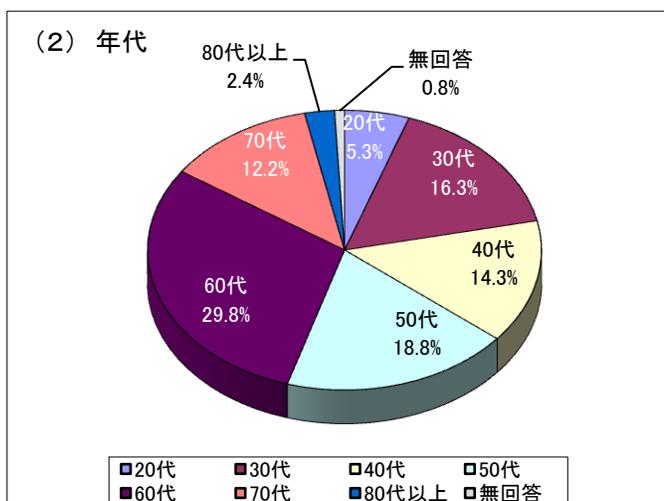
(1) 性別

①男性	97
②女性	147
無回答	1
計	245



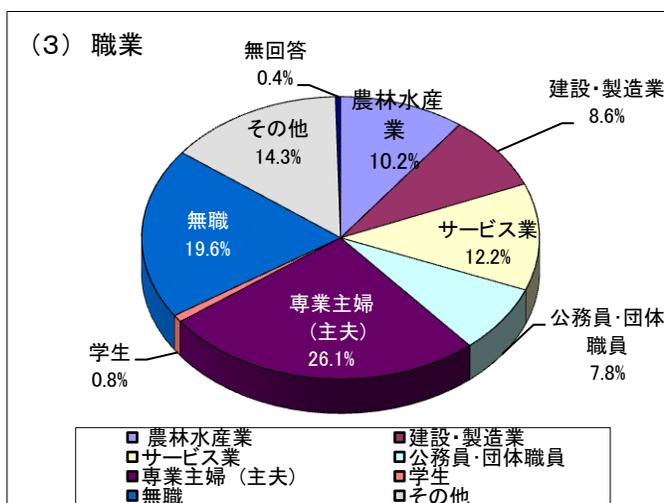
(2) 年代

20代	13
30代	40
40代	35
50代	46
60代	73
70代	30
80代以上	6
無回答	2
計	245



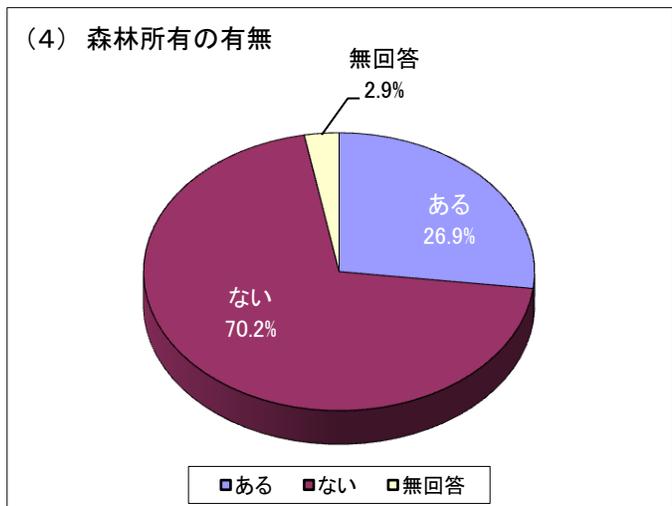
(3) 職業

農林水産業	25
建設・製造業	21
サービス業	30
公務員・団体職員	19
専業主婦(主夫)	64
学生	2
無職	48
その他	35
無回答	1
計	245



(4) 森林所有の有無

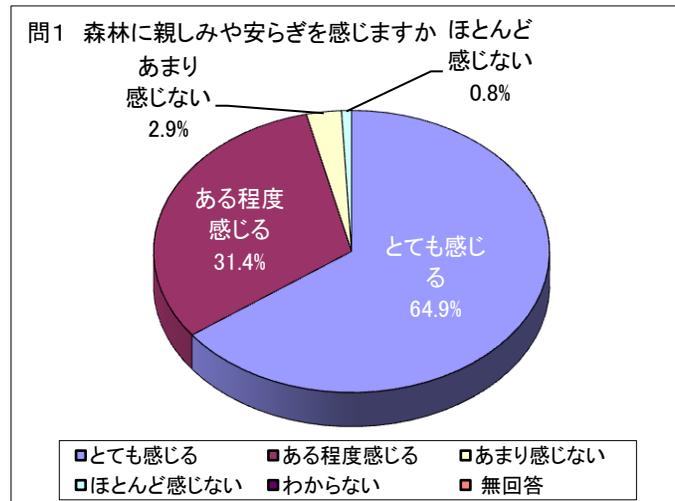
有	66
無	172
無回答	7
計	245



II アンケート集計結果

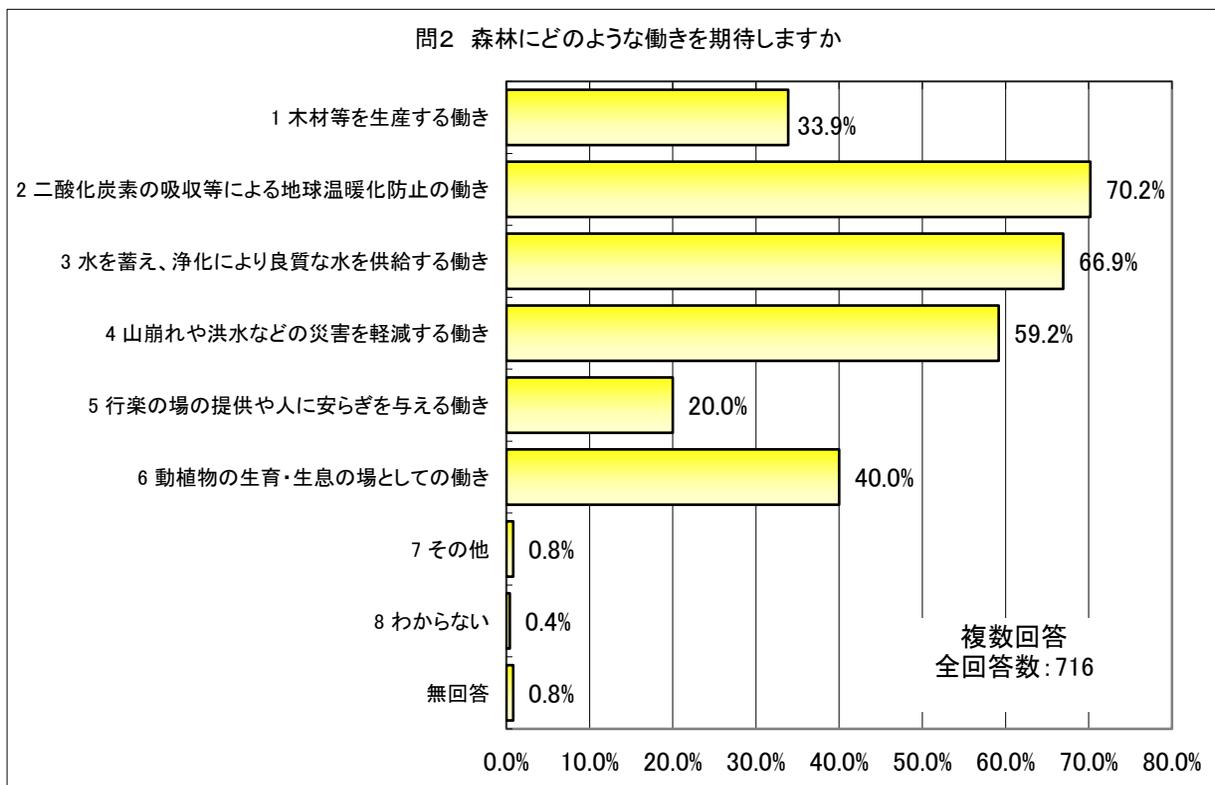
問1 あなたは、森林に親しみや安らぎを感じますか。

1 とても感じる	159
2 ある程度感じる	77
3 あまり感じない	7
4 ほとんど感じない	2
5 わからない	0
無回答	0
計	245



ある程度感じると回答した人も含め、9割を超える人が森林に親しみを感じると回答した。

問2 あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。特に期待する内容を3つまであげてください。



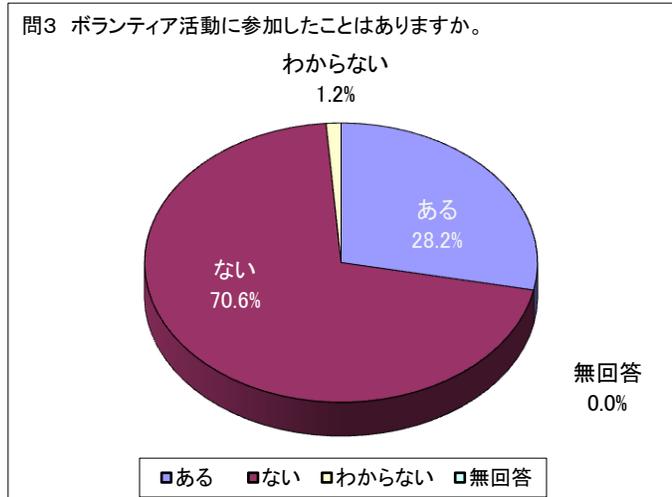
その他内訳

・森と海(水産業)の関係

森林に期待する働きは、地球温暖化防止機能が最も多く、次いで、水源の涵養機能、災害の被害軽減機能という結果になった。

問3 あなたは、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したことはありますか。

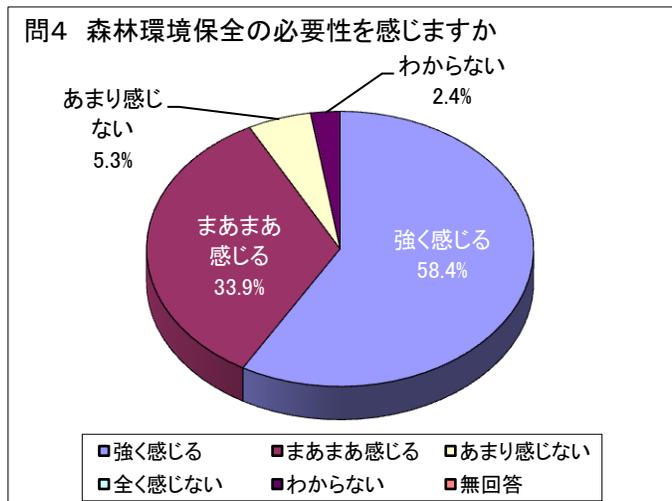
1 ある	69
2 ない	173
3 わからない	3
無回答	0
計	245



森林環境保全のためのボランティア活動に参加したことがある人は、3割程度にとどまっている。

問4 あなたは、管理が行われず放置されている森林が公益的機能を十分に発揮していない状況を改善するための「みんなで支える森林環境保全の仕組み」について、必要性を感じますか。

1 強く感じる	143
2 まあまあ感じる	83
3 あまり感じない	13
4 全く感じない	0
5 わからない	6
無回答	0
計	245

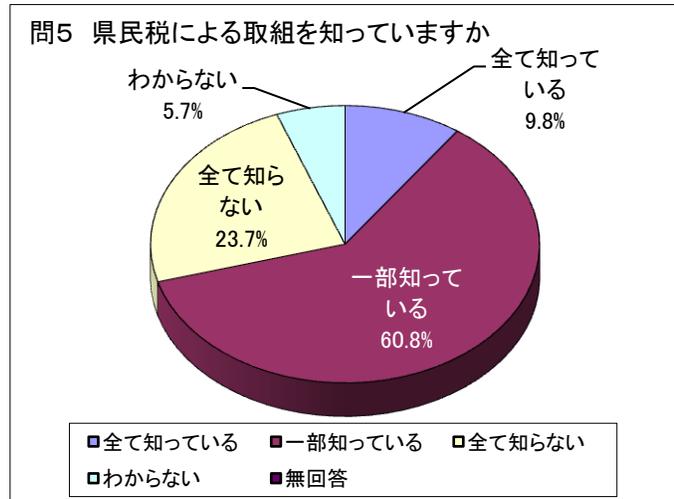


森林環境保全の必要性について、まあまあ感じると回答した人も含め、9割を超える人が森林環境保全の必要性を感じると回答した。

問5 あなたは、「いわての森林づくり県民税」を導入し、森林環境を保全するため、下記の取組を行っていることを知っていましたか。

- ア 間伐による森林環境の整備（「いわて環境の森整備事業」）
- イ 県民の方々が行う森林づくり活動の支援（「県民参加の森林づくり促進事業」）
- ウ 児童・生徒や県民の方々を対象とした森林環境学習（「いわての森のゼミナール推進事業」）
- エ 森林づくりのための啓発・PR（「いわて森林づくり普及啓発事業」）
- オ 森林環境保全の取組を評価・検証する「いわての森林づくり県民税事業評価委員会」の運営

1 全て知っている	24
2 一部知っている	149
3 全て知らない	58
4 わからない	14
無回答	0
計	245

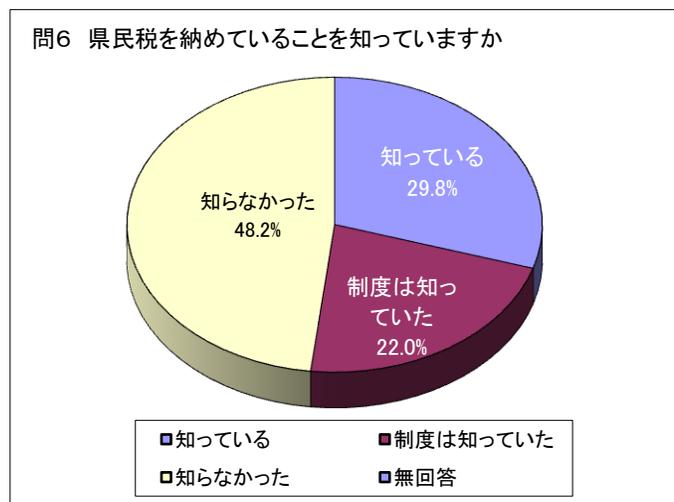


県民税による取組を一部でも知っている人を含めると7割程度の人を知っているが、取組内容を全て知っている人は、1割に満たない。また、3割程度の人には、全て知らない、わからないと回答した。

問6 あなたは、「いわての森林づくり県民税」として、個人年額1,000円(※)を納めていることを知っていましたか。

※県民税均等割額が非課税とされている方には課税されません

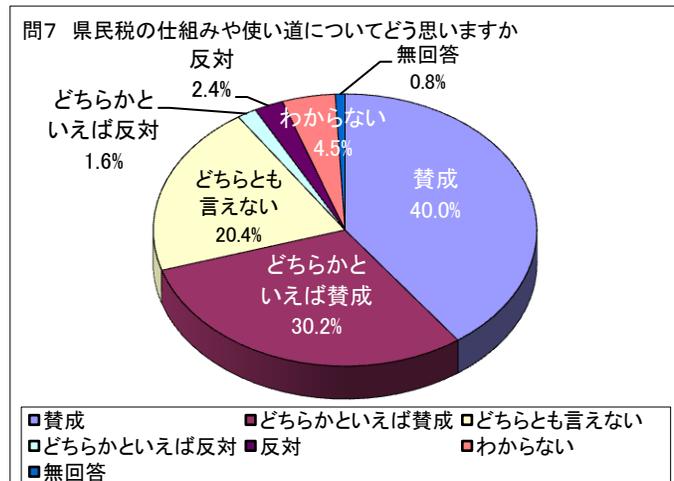
1 知っている	73
2 税額は知らなかったが、制度を導入していることは知っていた	54
3 知らなかった	118
無回答	0
計	245



「いわての森林づくり県民税」の制度を知っている人が、知らない人を上回った。

問7 現在の「いわての森林づくり県民税」の仕組みや使いみちについてどう思いますか。

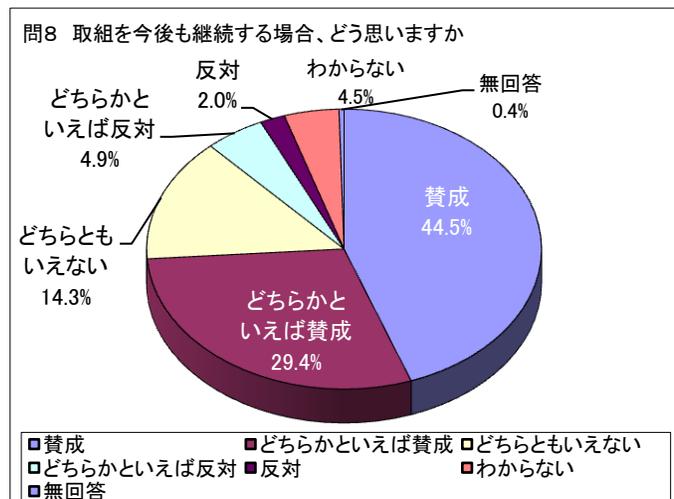
1 賛成	98
2 どちらかといえば賛成	74
3 どちらともいえない	50
4 どちらかといえば反対	4
5 反対	6
6 わからない	11
無回答	2
計	245



県民税の仕組みや使いみちについて、どちらかといえば賛成する人を含め、7割程度の人が賛成すると回答した。

問8 現在の「いわての森林づくり県民税」の取組を今後も継続するとした場合、どう思いますか。

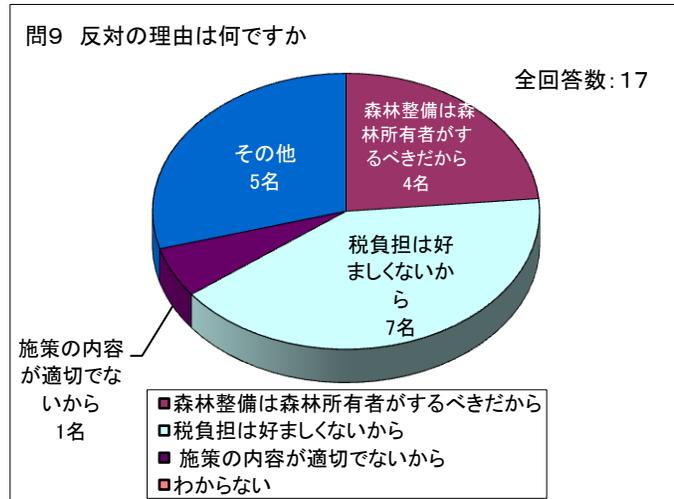
1 賛成	109
2 どちらかといえば賛成	72
3 どちらともいえない	35
4 どちらかといえば反対	12
5 反対	5
6 わからない	11
無回答	1
計	245



県民税の取組を今後も継続することについて、どちらかといえば賛成する人も含め7割以上の人が賛成すると回答した。

問9 問8で「どちらかといえば反対」、「反対」を回答した方に伺います。反対の理由は何ですか。

1 現在の森林の状況で問題がないから	0
2 森林整備は森林所有者がすべきだから	4
3 森林の環境保全に関心がないから	0
4 税負担は好ましくないから	7
5 施策の内容が適切でないから	1
6 わからない	0
7 その他	5
無回答	0
計	17

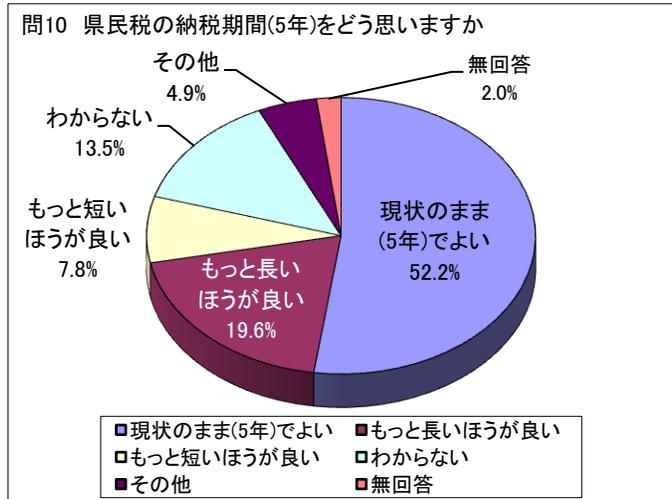


問9 その他の内訳

- ・国でやるべき。
- ・国有林、県有林、民有林の全てが対象なのか不明。
- ・税負担は少額であるが、効果的であるか疑問である。
- ・いわての森林づくりの取組は賛成ですが、税金じゃなくても良いと思います。間伐材を「岩手の木」というブランドで住宅メーカーに販売し、その収益でできるのではないかと思います。
- ・森林税を作って増税するのではなく、県民税の中でするべきことだと思う。

問10 現在の「いわての森林づくり県民税」は納税期間を5年としています。平成28年以降、この県民税を継続する場合、その期間についてどう思いますか。

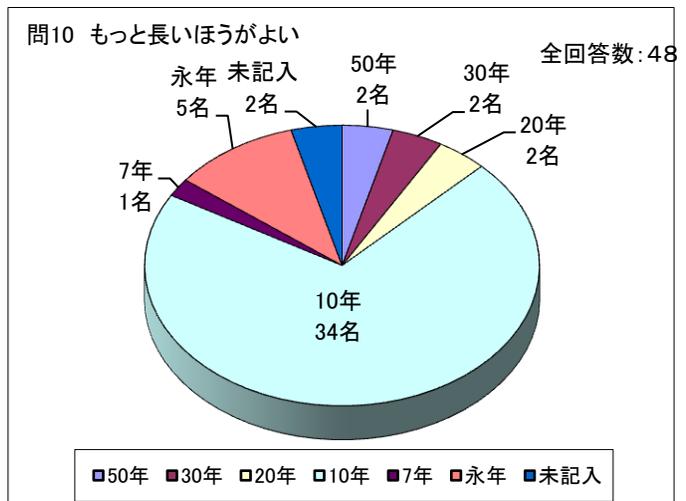
1 現状のまま(5年)でよい	128
2 もっと長いほうがよい	48
3 もっと短いほうがよい	19
4 わからない	33
5 その他	12
無回答	5
計	245



県民税を継続する場合の期間について、半数程度の方は現状のままでよいと回答した。次いで2割程度の方はもっと長いほうがよい。もっと短いほうがよいと回答した人は1割未満にとどまっている。

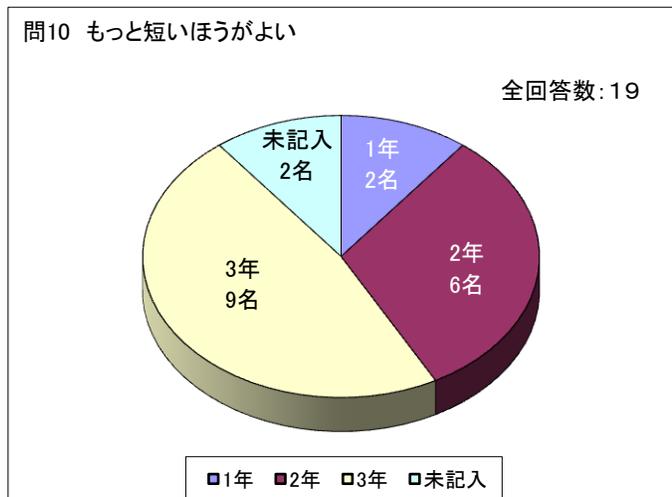
「もっと長いほうがよい」の内訳

50年	2
30年	2
20年	2
10年	34
7年	1
永年	5
未記入	2
計	48



「もっと短いほうがよい」の内訳

1年	2
2年	6
3年	9
未記入	2
計	19

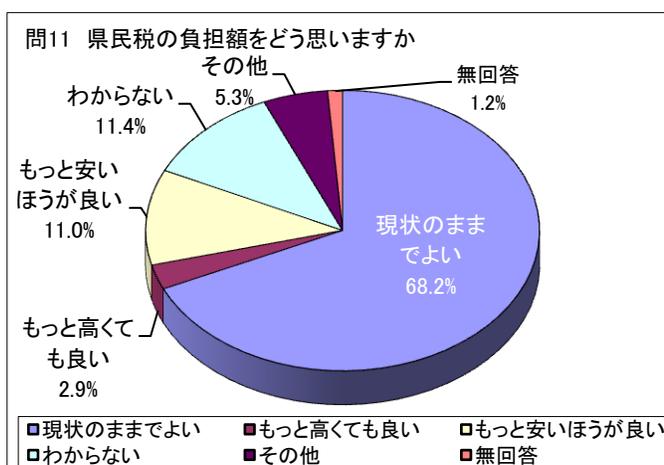


問10 その他の内訳

- ・3年メド見通し、2年見通し実施、さらに継続
(整備が必要な森林1万ヘクタールの解決、その上でステップ事業を展開継続)
- ・間伐等、整備がある程度進行状況が良好な場合、一時休止するという手は？
- ・森林整備が完了するまで。
- ・長く継続してもいいが、透明性がない。ちゃんとそのためだけに使っているかわからない。
- ・今のままで実施することについては疑問が残る。
- ・長期において森林保全をしなくてはならないと思うから。
- ・いわて県民税と位置付けされていることがどうなのか？
- ・5年10年だけでなく半永久的に継続し現在木材の需要薄の為、税金で管理し、温暖化防止、貯水、災害防止、動植物の生息、生育に勤めなければならない。
- ・森林はいつまでもあってほしいので、森林がある限りいつまでも。
- ・効果に疑問。継続に反対。

問11 現在の「いわての森林づくり県民税」での県民一人あたりの負担額は、年1,000円としていますが、平成28年以降、この県民税を継続する場合、その負担額についてどう思いますか。

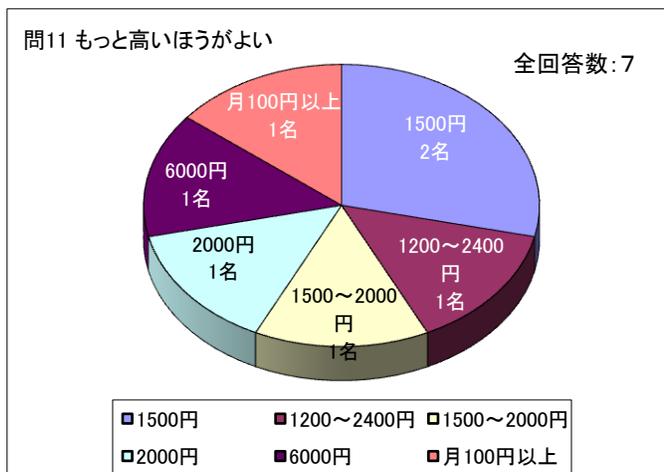
1 現状のままでよい	167
2 もっと高くてもよい	7
3 もっと安いほうがよい	27
4 わからない	28
5 その他	13
無回答	3
計	245



県民税を継続する場合の自己負担について、7割程度の方が現状のままでよいと回答した。次いで、1割程度の方が、もっと安いほうがよい・わからないと回答し、もっと高いほうがよいと回答した人が1割未満にとどまった。

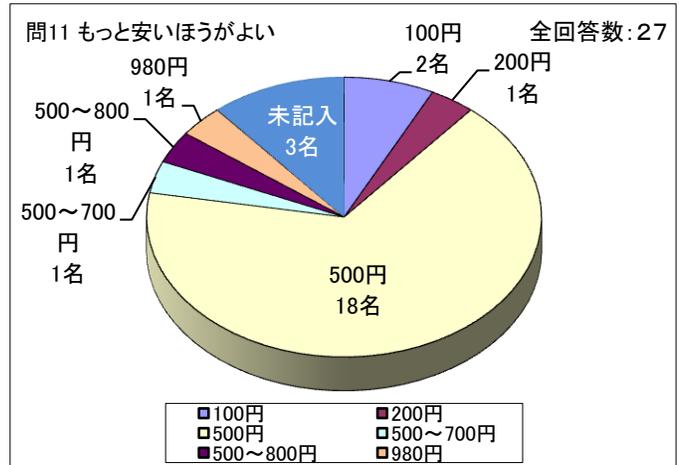
もっと高くてもよい、内訳

1500円	2
1200～2400円	1
1500～2000円	1
2000円	1
6000円	1
月100円以上	1
計	7



もっと安いほうが良い内訳

100円	2
200円	1
500円	18
500～700円	1
500～800円	1
980円	1
未記入	3
計	27



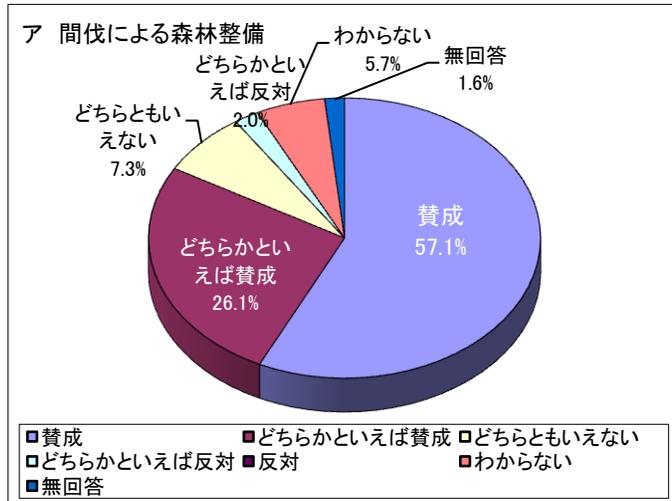
問11 その他内訳

- ・必要経費を試算して決めて良いと思う。
- ・一人1000円/年とされた根拠がわからない。
- ・今後の活動内容を試算して金額を決めればよい、高くても安くても。
- ・国でやるべき。
- ・県民一人当たり税千円で効果ある事業実施しようとするに疑問が残る。効果が期待されるのであれば高くても良いと思う。
- ・必要であれば500円、1000円高くても良い。
- ・税金そのものをとりやめてほしい。
- ・寄付、興味ない人いる。
- ・高いか安いのか(1000円)なんとも言えないが、その5年間で足りていればそれでいいと思うし、足りない時は検討すればよいと思う。

問12 「いわての森林づくり県民税」の平成28年度以降のあり方については、外部評価機関である事業評価委員会から「継続すべき」との提言を受けたところですが、あなたは、継続するとした場合の使いみちとして、以下の取組をどのように思いますか。

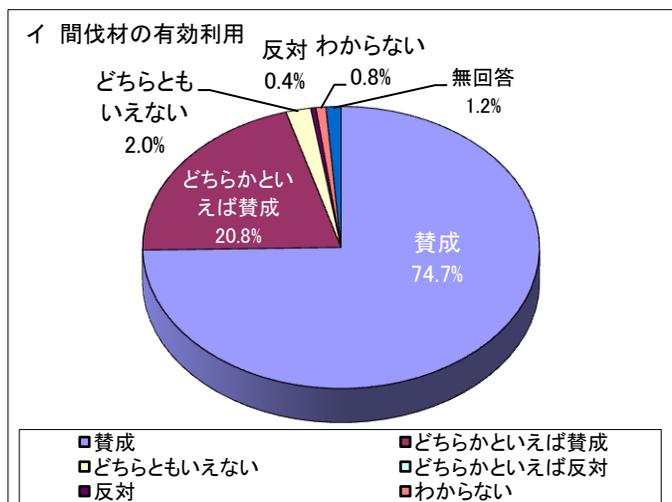
ア 公益上重要な人工林の針広混交林への誘導(間伐による森林整備)

1 賛成	140
2 どちらかといえば賛成	64
3 どちらともいえない	18
4 どちらかといえば反対	5
5 反対	0
6 わからない	14
無回答	4
計	245



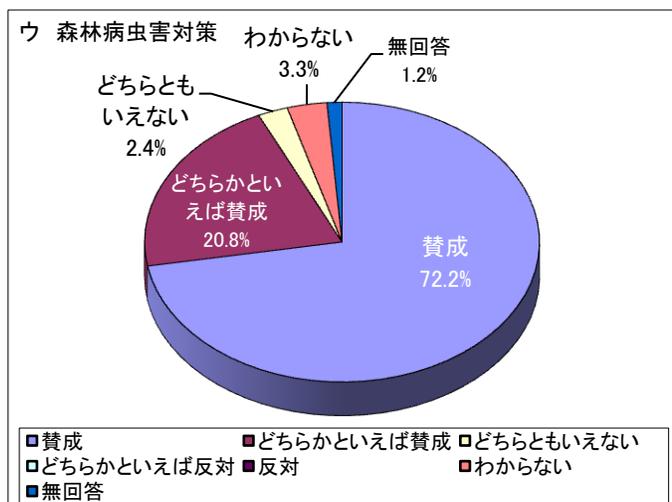
イ 間伐材の有効利用

1 賛成	183
2 どちらかといえば賛成	51
3 どちらともいえない	5
4 どちらかといえば反対	0
5 反対	1
6 わからない	2
無回答	3
計	245



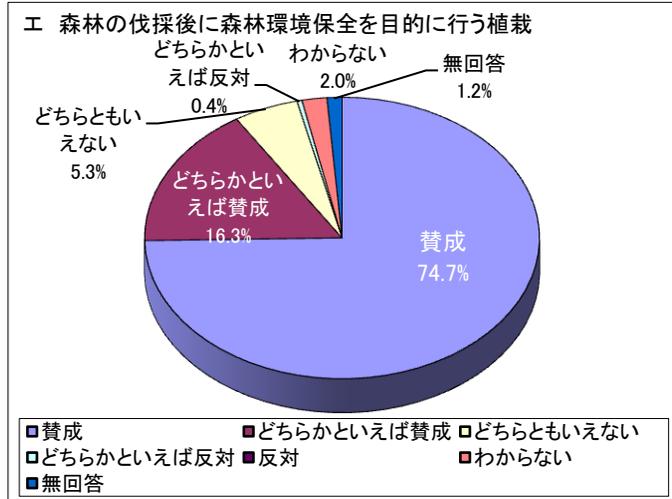
ウ 森林病虫害対策(松くい虫被害対策、ナラ枯れ被害対策)

1 賛成	177
2 どちらかといえば賛成	51
3 どちらともいえない	6
4 どちらかといえば反対	0
5 反対	0
6 わからない	8
無回答	3
計	245



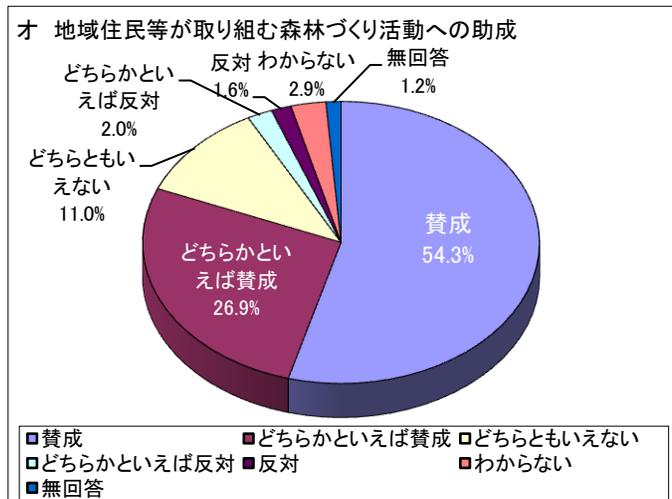
エ 森林の伐採後に森林環境保全を目的に行う植栽(再造林)

1 賛成	183
2 どちらかといえば賛成	40
3 どちらともいえない	13
4 どちらかといえば反対	1
5 反対	0
6 わからない	5
無回答	3
計	245



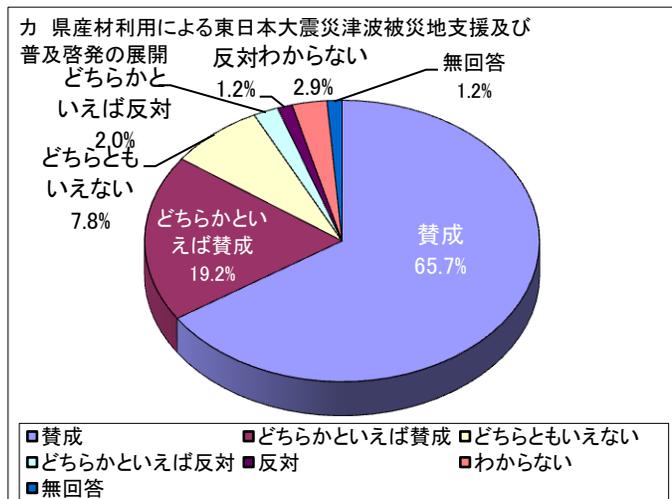
オ 地域住民等が取り組む森林づくり活動への助成

1 賛成	133
2 どちらかといえば賛成	66
3 どちらともいえない	27
4 どちらかといえば反対	5
5 反対	4
6 わからない	7
無回答	3
計	245



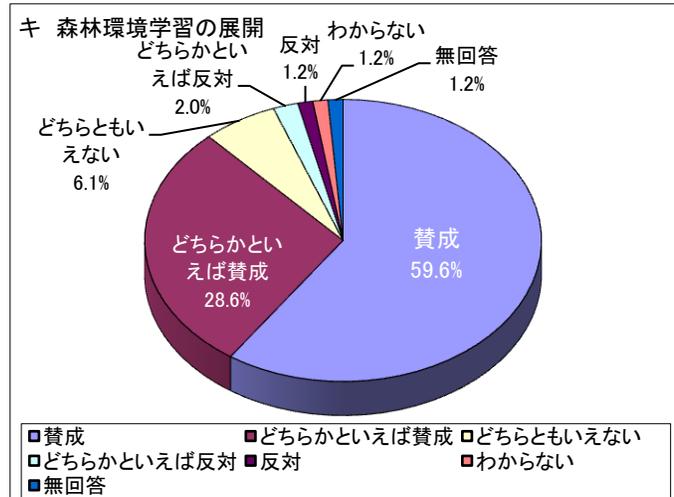
カ 県産材利用による東日本大震災津波被災地支援及び普及啓発の展開

1 賛成	161
2 どちらかといえば賛成	47
3 どちらともいえない	19
4 どちらかといえば反対	5
5 反対	3
6 わからない	7
無回答	3
計	245



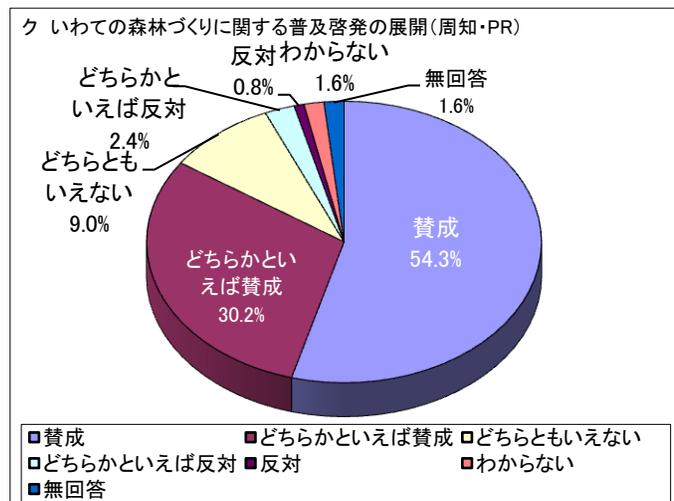
キ 森林環境学習の展開

1 賛成	146
2 どちらかといえば賛成	70
3 どちらともいえない	15
4 どちらかといえば反対	5
5 反対	3
6 わからない	3
無回答	3
計	245



ク いわたの森林づくりに関する普及啓発の展開(周知・PR)

1 賛成	133
2 どちらかといえば賛成	74
3 どちらともいえない	22
4 どちらかといえば反対	6
5 反対	2
6 わからない	4
無回答	4
計	245



全ての項目で、8割を超える人が、賛成又はどちらかといえば賛成と回答した。反対又はどちらかといえば反対と回答した人は、1割未満にとどまっている。

ケ その他実施すべきとお考えの取組がありましたら御記載ください。(自由回答)

- ・地域にある共有山組織への財政支援
- ・花粉の少ない杉の品種改良
- ・林業に携わる人材の育成
- ・県民の理解しやすい報告は義務として行ってほしい。更に利益が発生した場合、負債への流用はもちろんですが、被災地復興へ尽力してほしい。
- ・治山・治水、林道事業の促進
- ・森と海の関係
- ・このままでは荒れるので、手当てが必要
- ・間伐材の山林への廃棄をなくする取組(薪材として希望者へ無料で提供する等)
- ・木材を安く提供する。マキストープの導入
- ・せっかく、戦後に植えた森林、手入れをしてほしい。

- ・思いうかばないが、松くい虫被害の山を見ると最小限にすることはできなかったのかと思ってしまう。
- ・間伐材の林地放置はCO2の放出につながるので、地域内利用(ストーブ利用など)を真剣に検討すべきだ。
- ・森林を守るための取組をアピールするべき。私自身税金を払っている事を知りませんでした。
- ・所有者の許しを得て、倒れている木材をほしい方に片付けてもらったらかれいになると思います。
- ・民有林の間伐、枝打が進んでいないのでこれを助成、針広林(混交)を強力に推進。
- ・もっとPRすべきだと思う。
- ・県有林のPR。
- ・案内板など数多く設置してほしい。夜間防犯対策のため太陽光などでの灯りがほしい。
- ・問12のイ〜ク、すべて必要なことは誰でもわかると思う。要は費用対効果が問題
- ・人間が手をかけなくても自然に環境が循環できる植え方をしてはどうですか？以前NHKで神社の裏の森林が特集されていました。薪にしかならない間伐材の無料配布を希望します。
- ・私は花粉症なので杉以外の植栽は出来ないのでしょうか。
- ・小中学校でのPR
- ・沿岸、各市、地域に県民・市民のいこいの森をつくること。
- ・県産材による家具等製作する職人を育成できる様な取組
- ・植木ボランティア活動、県民参加希望者
- ・地区で森林保全に取り組んだ場合の補助金を出す。
- ・新聞、テレビなどによるPR
- ・県産材利用による効果の周知
- ・普及啓発及び啓蒙活動を地元TV、新聞等での報道
- ・管理の行き届かない森林所有者対策の実施充実
- ・ア〜クまで全部。他は思い当たりませんが現在実施している分の継続
- ・地域に密着し、住協とか子供会、その他と連携した取組
- ・山火事、山崩防止対策
- ・県道の植栽も考えてほしい。(木の種類、手入れ)
- ・県内全域の森林の放射線量の測定→安心して森林浴などをしたり、木材を使ってもらえるように。
- ・使いみちの公開を見た事がないので、きちんとした収支報告書を全世帯に通知するべきだと思います。
- ・杉花粉のことを考えた森林づくり
- ・各地域より希望者を募って森林協議会をつくる。
- ・間伐材を活用した椅子、ベンチ等街や公園にあつたら素敵です。高齢者も街で歩きやすくなると思います。
- ・森林環境保全募金運動
- ・大災害が各地で毎年のように発生していますが、地滑り等の報道を見ると同一種類を植えているように思われますが、自然の山は違います。人工林にしてもそこに元々はえている木を植えるのがいいと思います。
- ・花粉症対策(植樹する樹種の変更など)
- ・間伐の推進
- ・森林環境と関わりの少ない方たちへの啓発や体験植栽など
- ・少子高齢化における民有林の維持管理ができない方々に県(国)有林への寄付採納による環境資源として維持管理を図るべきでは。部分林等による貸出等々。
市・県民によるボランティアイベントによる広葉樹の植樹をもっと推進し、その用材の利活用を推進すべき。
- ・杉花粉の少ない杉の植樹
- ・具体的に目に見える成果の出るものに限定すべきである
- ・岩手県内で建築する家、ビル、マンション、店舗(大規模含む)公共建築物等には一定の割合で県産木材を使うことを義務づける。また間伐材、チップ(燃料として)も同様とする。
- ・山林所有者に対する整備勸奨に関する事業
- ・林業の文化的側面への支援(馬搬の再興と観光)

問13 岩手県の森林環境やその保全、身近な森林を守るために協力及び実践したいこと、「いわての森林づくり県民税」に関する御意見・御要望等がある場合は、回答用紙に御記載ください。

- ・森林の有効活用が必要です。木材価格が安く採算が合わないため放置されています。木工品の生産。仮称「森の駅」の設置。自然公園化。メガソーラーの設置などがあると思います。
- ・18年度から実施してきたことを何年といわず継続してほしいです。
- ・岩手県の財産、国立公園等の保護を目的とした活動に興味を持ちます。町の中に森林を取り入れることや森林の中に宅地造成など「住」と「森林」は大切なことと思います。
- ・PRが足りない気がします。5分でも良いのでローカル情報をTVで発信してくれたらOKです。
- ・森林づくり県民税について、全く認識がありませんでした。岩手の広大な山林を維持保全のために必要な施策を実施するために必要な取組と思います。本県民税の事業収支を知りたい。
- ・デンマークでは森林浴を楽しんだりしました。ツアーを企画したら、そのよさ(森林)をより知っていただけるのではないかと思います。
- ・活動事例を今後も県民にPRしていただきたい。
- ・紫波町での取組は知っていましたが県としてのこういった事業は知りませんでした。協力できることがあれば協力していきたいと思います。
- ・県産材を有効利用してほしいと思うし森林保全に役立てていただきたいと思います。
松くい虫の被害が少なくなることを切に願っています。(北上山地の方で広がっているように思います)
- ・先日テレビで間伐した木材を買い取り、火力発電をして成功しているのを見ました。火力発電でなくても、山主が自ら持ち込み買い取りしてくれるシステムがあれば山の手入れがもっと行われるのかもしれないと思いました。そして、それが活用できるものと考えてほしいと思います。
- ・身近な山・森林へ行きたい時でも、熊等の出没が大変心配されます。解決に向けての取組も必要と思っております。
- ・県民全員が参加できるようにPRが必要。
- ・問12のア、ウを第1優先に取り組んでほしい。
- ・森林づくり環境保全は水源や温暖化防止等・様々な重要な役割をもっている。県民税を活用した取組の成果についても確実に県民に対して理解のできるような説明と報告をしてほしい。
森林組合やNPO法人等の特定団体の作業提供であり、幅広く県民・林家主に対しても実効性のある使い方をしてほしいと思います。
- ・「いわての森林づくり県民税」がどのように使われているかよくわからずに納めている人も多くいるのではないのでしょうか。PRをもっとして必要であれば延ばしてもいいのではないのでしょうか。
- ・税金がどこにどのくらいどのようなところに使われているかわからない。市町村単位でわかるようになれば良いですね。写真入りがあればもっとよいです。
- ・手入れのされていない山を見ると残念な気持ちになります。製紙会社の看板が設置され、間伐ならぬ“完伐”で森林が無くなってしまった山を見ると悲しいです。
居住地域で森林保全のためのボランティア活動があったら参加したいです。
- ・身近な里山等の私有林も所有者の高齢化や後継者不足などで荒れが進み、山菜や野草なども消えてきている。地域が個々の課題に沿って主体的に環境整備できるよう、地域助成金を多くしていくことを望みます。
また、地域活動の中に植林とか(山菜とりとかを含む)観察会など、子供たちの体験学習をとり入れたら、生きたものになると思う。(30年位前には学校林というものがあり、下草刈など中学生がやりました。)
- ・森林環境政策で、平成26年に金ヶ崎産直組合がカーボン・オフセットで、農水大臣賞を受賞しています。この取組を広げてみてはいかがでしょう？

- ・先日、奥州市の「種山ヶ原」で新緑の素晴らしさを十分味わってきました。その森林整備、憩いの場の整備に感心いたしました。「いわての森林づくり」が一般の人々に身近に分かるような取り組みを望みます。
- ・どの事業にどれ位の予算があてられているかが良くわかりません。緊急性の高い事業を優先してほしいと思います。
- ・「森林づくり県民税」導入については、我々の土壌において、日本列島でのあり方を再認識し、それらを活用しての生業を産み出してゆく「権利」が我々には与えられているという事をプラス思考に替え、それを全国・全世界へ売り出し・売り込みしてゆく事を考えてゆけば、少なからず県勢に勢いを与える事は出来ないか?!ひとつの提案です。
- ・問12エを「3」としたのは、伐採後の森林更新で針葉樹更新でなく落葉樹(ブナ等)による植栽、少なくとも落葉広葉樹を中心とする混交林ならばいいが、そうでないなら自然更新の方がいいと思うから。
- ・県土の半分以上は森林と言ってよいと思う。それを維持、保全していくには必要な県民税だと思う。保全だけではなく間伐材の利用や森林公園などを整備し観光PR等を行ってもよいと思う。また登山道などの整備等を行えば森林との接点も増え理解が進むと思う。
個人的には小さい頃に自転車で行けた身近なカブトムシの森が開発のためなくなったのが残念です。小さな子供がいるのでそんな身近な森があれば森で遊ぶ機会も増え、関心を持ってもらえるのではないかと思います。
- ・森林環境を保全する事が、良質な栄養水を川、海にもたらし漁業栽培事業に多大な恩恵を与えたり、二酸化炭素を供給する事を考えれば、漁業水産事業主や排煙噴出工場主等にはそれ相応の税負担をしてもらいたいと考える。
- ・植林や山の手入れを実施したところに補助金を出す。
- ・いわての森林づくり県民税を導入し、このような取組をしていることをもっと県民にPRした方がよいと思います。
- ・森林整備・管理をしっかり行っている所有者に対して、助成免税、推奨をする。
- ・森林は私にはとても身近にある心安らぐ場所です。色々と恩恵を受けて暮らしており、いつまでも大切に守って行くべきと思います。
- ・森林は長期で取り組む事業と思います。年数を決めないで税金を納めて良いと思います。山に住む動物たちへの配慮も必要と思います。
- ・木材チップを使つての発電が相次いでいるが、供給のために乱伐という心配はないでしょうか?
県民税の総額はいくらかで1~5の活用例での費用対効果をわかりやすく周知、PRがあれば良いと思います。
- ・森林づくりフォーラムに出席しました。会場満席で専門職・学生・従事者で、とても参加者の関心度は高く森林・林業に対する理解を深めることができました。県民からの税金があることによっていろいろ施策できますが、その中で講師、従事者の方が発言されたことが、とても印象深く、主婦にとっては税金はとても大切にしてほしいと思いました。取組と成果については概ね賛成であります。小中学生を対象に学習機会を提供する取組をもっと具体的に増やしてほしい。
- ・クマが出没するので実のなる木は植えられませんか?どんぐりの木。圧倒的に杉が多い。
- ・森林探検など、子供だけではなく、大人も対象にする企画等があっても良いのでは。
森林環境保全のために年輩者にも協力を求めて(下草を刈る作業等)保全に努めたらと思う。
- ・薪ストーブ利用促進の声はよく聞かすが、薪の確保が難しく伸び悩んでいるのではないか。道路整備で発生する除伐木も乾燥させることで燃料材になるので、ゴミを減らす観点からも有効利用を電力、NTT、JRなどと協議してはどうか。「もったいない」が多すぎます。
- ・参考資料の整備前後の写真を見るまで、このような保全活動を施さなければならない森林がたくさんあることを知りませんでした。400億近い効果があることをもっとアピールしていかなければならないと思います。
- ・アピールと岩手の「緑」を守る事が大切。
- ・歩道にかぶさる様に枝が伸びて、ケムシ等ぶらさがっていたり、歩道を歩くのがいやな時期もあります。とつても、さわやかに感じる時もあるし、枝は切り落としたり良いと思います。
- ・森林所有者が抱える労力・金額負担が大きい(実家)それでも森林の手入れに懸命、支援の拡大を望む又管理整備等アドバイスをいただき連携で保全できればと思う。
- ・①間伐材の有効活用、②バイオマスの推進、③森林を整備するための省力化する機器開発、④安価なペレットの開発(安価)、⑤広葉樹林の拡大、⑥クリ・クヌギ・ナラ等の植栽、⑦間伐材を活用(構造材(集成材のもの))を開発。北欧では認可されている。(高層建物)
- ・もう少し県民にPRした方がいい。こういう機会がないと、関係者以外誰も知らない。

- ・ちゃんとそれにお金を使っているか全くわからない。他のに使ってないか心配である。
- ・植林活動へのいろいろな年代の参加。
- ・子どもの部活で遠野市へ行き、遠野中学校の中に入ることがあった。学校、机、椅子が木でできていた。このように目に見える活用は、すごいと思った。隣の市なのに、子供の数が少なくても学校にきのこが生えてもそれでも使っている校舎より良いと思った。ぜひ活用した家や家具を誰でも見れるようにしてほしい。もちろん公園、アスレチックを生かしてほしい。
- ・「いわての森林づくり県民税」を利用して、地域住民が整備されていない山道を整備できるよう補助金を出すなどの支援をしてほしい。また、県のホームページを活用して、整備してほしい山道の募集を行い、多い順に山道の整備を実施してほしい。ちなみに私の家の後ろの山には、地図にのっている山道があるのですが、地域住民では整備しきれず歩行も困難な状況です。なので、ぜひ県の方で、うちの後ろの山道の整備をしてほしいです。よろしくお願いします。
- ・森林整備イメージキャラクター「カンバツ君」がかっこ悪い！もう少しかわいくしてほしい。
ムダに役員とかをつけて、報酬を払わないでほしい。
- ・日本製のものを使うようにしましょう。
- ・今回「いわての森林づくり県民税」があることを初めて知った。5年に一度とのこと十分利活用し、目にも優しく、心を癒してくれる豊かな緑を守ってくださるようお願い致します。
- ・寄付金対象として、所得控除の対象に出来る様に検討してみてもどうでしょう。
- ・岩手県には豊かな森林がたくさんあります。荒れた森林を手入れすることによる効果はとても大きいと思います。ぜひたくさんの方々がかかわれるよう普及も含め参加できる機会が増えることを期待します。
- ・大学時代、森林環境税について学んだことがあるので、他の人よりは知っている部分は多いと思いますが、この取組について知らない人は多くいると思います。税金を利用したことの効果が、負担者側に見えにくく理解が難しい部分も多いとは思いますが、森林環境教育なども引き続き助成していただき、理解醸成等も続けていってほしいと思います。
- ・岩手県に生まれてとても有難いと思う一番の思いは、自然豊かで森林の面積が多くあらゆる恩恵を受けていると感じます。
しかし、動植物の生息域の場が近年少なく又は、失なわれつつあると思います。そのため今後、森林の環境を保ちつつ、動植物の生態系との共存する社会を考えていただきたいと思います。
- ・この税金は必要であり、県だけではなく国全体でかつ人口の多い(比例)順で負担をするべきである。(地球温暖化防止、水源環境、風景)
- ・東北森林管理局とは、どのようにかわりあっているか興味がある。
- ・案内板など数多く設置してほしい。夜間防犯対策のため太陽光などでの灯りがほしい。
- ・車を走らせていると手入れが行き届いていない所が多くクマや小動物の危険性、光を当ててないと見はらしが悪く運転しにくいです。宅地造成等で木が切り倒され寂しい気がします。
- ・「いわての森林づくり県民税」を初めて知りましたが、とても良い取組だと思います。
- ・害虫駆除や間伐材利用などのニュースは見ていました。でもそこに自分の税金が使われていたことは初めて知りました。環境の為、森林が重要なことは、今では誰もが知っています。災害が多い昨今、防災面でも森林整備はとても重要だと思います。
- ・モニターになって、初めて知ることも多く「いわての森林づくり県民税」も今回とても勉強になりました。この頃は自然災害も増え、岩手の素敵な自然環境をなるべく良い状態で後世に残せるようにこのような素晴らしい取組をもっとPRして、より多くの方々に賛同してもらえたらうれしいです。
- ・少額の税金で細々と事業をやっている様にも感じる。(ごめんなさい)
やむを得ないと思いますが、将来的にやむを得ないで終わってしまうのは残念である。
- ・森林環境をより良い状態で保全し、脈々と次世代につなげていく事は、便利な社会を謳歌する私達にとっての義務のひとつだと思います。
また、森林づくりは、岩手のみならず地球規模で取り組むべき課題かと思っています。100年単位で森林づくりを実施しているドイツを見習いたいものです。森林づくりの大切さ、必要性をもっともっと啓発すべきではないでしょうか。

・倒木等そのままになっており森林が荒れている印象を持っています。倒木した木は誰でも排除して良いという条例ができる自然に体が山に向いて、掃除したりもできると思います。家では薪ストーブを使用していることもあり薪にしかならないような木片を無料配布していただけるような広報でもお知らせしていただければうれしいです。

岩手の森林を守りたいという意識は家族で持っています。税金としてお金を取られるだけではなく、直接我々にできることを教えて欲しいです。子育て世代であり、広報にその資料を頂けると家族みんなで考えることができると思います。

・地域で保全と言っても、高齢化で地域だけで保全するには限界があるのでないか。

・間伐作業の見学・できれば体験などしてみたい。また間伐後の木材の利用について知りたい。
住んでいる市での活用・活動がどのようなものなのか知りたい。

・税を納めることのみ考えないで、収益で得た金を活用してほしい。(現状では無理かもしれないが、ぜひその方向であってほしい。)

町村の森林(町有林の活用、提供を図ること)、植樹祭を各市町村で企画、実行し宣伝を図ること。(毎年)

・税金なので、「いわての森林づくり県民税事業評価委員会」の運営や周知・PR(広報など、なるべくお金をかけず、よい方法で周知してほしい。)よりも、実際の現場でお金を使ってほしいと思う。

カンバツ君を初めて見たが、必要性がよく分からない。

・街路樹を植える。そして健康管理をする。

・春は山菜、夏は登山、秋はきのこ取り、冬はスキーと年中楽しんでいきます。森林をぜひ守ってください。

・県、国、民有林に対して一般人が立ち入ることができないことが多いなか、森林づくりに対してもっと身近に感じる事業やイベントを多くしてほしい。

沿岸に住んでいると森林浴などができる所が少なく、環境を保全しながら気軽に森とふれあう場所を(公共のいこいの場)を作してほしい。

「いわて森林づくり県民税」が県職員の人件費に使用されず全額そのためだけに使用されるのなら必要性は継続されるべきである。

・山崩れや洪水が各地で発生しているので森林環境の対応が必要と思います。

・沿岸ではあまり目にしませんが、内陸の山間部に限らず松くい虫の被害がとても気になります。

森林づくり県民税も松くい虫等の対策に役立っていると思いますが、年々増加している被害に歯止めがかかっているのか、県民への情報提供が欲しいです。

・詳しく知らなかったのが、良い機会になりました。もっとPRしても良いと思います。イベントがあったら、ぜひ参加したいです。

・恥ずかしながら、「いわての森林づくり県民税」を徴収されていた事すら知りませんでした。参考資料を見て、税金を継続することには賛成です。ただし、将来に成果が現れるような取組に使ってほしいと思います。

・植木には、参加しているが生育の報告がないので植木の状態がわからない。生育状況を報告していただきたい。また、刈払いにも参加しているから、そのような活動してほしい。

・岩手県は森林豊かなように一瞬感じられるがよく見ると手のかけられていない森林が多いように感じられる。間伐材の利用とか森林整備のボランティアとか情報があつたら、もっと発信してほしい。

・森林の整備は高齢化・少子化に伴い荒れており、心を痛めております。熊、鹿などの動物も多くなり人間はますます山から遠ざかっています。森林づくりのさらなる持続とパワーアップを切に希望します。

・岩手は森林環境に恵まれた全国でもトップレベルの森林王国であると思う。この豊かな森林資源を活用して県勢発展を図るべきと思う。手をかけられずに捨てられた同然の山林が何と多いことがただ悲しい。

・この税を導入したことを知らず、ある日気づいて、いつの間に？という不満があるので告知にとっても問題があると思います。私の周りにもその税の存在を知らなかった人が多く、不満が多いです。

・森林の木を伐採したらすぐに、植林をして森林環境を守る事。

・森林浴体験ツアーウォーキング大会の開催。・県産材利用の住宅建築の例。

・間伐等行わないで放置している所有者には、税金を付加し、山林の所有権放棄したなら市町村又は県が所有し管理し、整備する策をする様提案します。山はますます荒れてきます。

・近年、郡部に行くとも雑木林の伐採が目立ちます。主としてチップ材に使用されると聞きます。伐採後の植林等を推進し、植林補助等を行なう事を検討されたい。

・新聞広告等でセミナーを見た事が有るが地域柄盛岡ですとなかなか参加できない。開催場所、地方振興局などでも開催お願いいたします。

県内企業、関東企業にも協力支援を求め、支援企業等市町村役所(場)を通して回覧板等で広く公表し、県民1人1人が有難うと言う気持ちまた自分達の手で森林を守らなければならないと云う意識を持つように。

普段一般に人はなかなか山に行く機会が無い為、間伐が行われたら回覧板等で回覧し製品なり、薪なり使用し間伐材を放置しないようにする対策。

我地域では行政連絡員が地域住民に呼びかけ集落センタートウフひき用カマ使用、住民がセンターまで運搬作業なかなか困難、面倒くさがり思うように行かない現状、業者よりセツカ板、〇〇林業より雑木、ナラ等購入してトウフガマ使用。

※行政連絡員に近郊山林に間伐材が有る事が役所より連絡不足。林業振興課で手間がかかると思いますが各役所へ連絡し必要行政区調査し、場所等連絡とってもらい、間伐材搬出(地区役員、住民)

せっかく間伐しても置き放しでは、後々邪魔になり間伐の意味がない。

税金 プロの手で間伐、手入れ、植樹も結構ですが、老若男女問わず山道路草ぼうぼう、山の中は間伐材散乱状態では“海は泣いている”楽しい事では有りませんが、現状を文章、図で見るより、自分の足、眼で確認してもらう企画が必要ではないでしょうか?

・今期も強気に推進してほしいと思います。

・「森林づくり活動」について見聞きすることがあまりない。目に見え、耳に聴こえるような活動を考えたいもの。

・森は海の恋人と言われております。

森林環境が良好であれば海も良好になり色々なイベントに参加し老人クラブ等で協力している。

・いわての森林づくりのPRや啓発は、今後もどんどんやるべきだと思います。又、「いわての森の感謝祭」等も積極的にやっていたきたいと存じます。私は山や森や自然大好きの“山ガール”ですが、いろんな山々を歩いて強く感じる事は、きれいに整備されている山をみると素晴らしい！と感動するが全く整備されず荒れ放題だととても悲しくなります。

・間伐体験等を増やしてほしい。

・「いわての森林づくり県民税」の事は全く知りませんでした。年間1000円納めている事も。たぶん知らない人が多いと思います。みなさんに知らせるべきだと思います。そして、そのお金が何に使用されているのか詳しく何かに載せるべきだと思います。(私が知らないだけかもしれませんが)

・より積極的な取組みをお願いいたします。

・木を生産し地球環境を守るだけではなく海を育てる森林はとても大切なものだと思います。木材に関してですが、今回の震災で家を流された人が話していたのですが自分の山に木が沢山あっても木を切って運び製材すると大変なお金がかかり、結局買った方が良いとの事でした。何かが変というか歯車がかみ合っていない感じがします。昔の人は孫、子へと大切に育てたはずなのにものもったいない感じです。また、現代の社会生活の中で管理してゆくというのも大変な事だとも思います。

・「いわての森林づくり県民税」の存在を知らなかったので回答のしようがない。どれだけの人が知っているのでしょうか?

・このアンケートを通じて、私自身がこの取組を全く知りませんでした。地球環境悪化が心配されている今日、「いわての森林づくり県民税」の取組は、無期限で続行するべきだと思います。森林が減っているという現状を県民だけではなく、全国の方達にも知って欲しいと思いました。

・木、森、林、自然な場所が少なくなってなっています。これ以上少なくなると、人間も危ないと思った方がいい。いっば植林して自然を元に戻していければいいですね。

・小学生、中、高、大の若い年代からの教育、体験の行事への取組をぜひ、実施してほしいです。

・身近な森林を守るのには、継続的にPRし県民からのご理解とご協力を得るべく方針を貫いてがんばって頂きたいと思います。

・森林は県民1人1人の財産であり、それを後世に残すのも県民の義務だと考える。

・問12のケでも書かせていただきましたが、森林の放射線量(原発事故による)を気にされている方々もおりますので、定期的な測定をお願いします。(特にお子さんをお持ちの方々)

・外山の市民植樹祭等の活動は啓発にとっても良いと感じました。

今は植樹作業も終了して、間伐の作業に移っているとのですが家族や友人等と和気あいの作業をしながら自然に森林や自然に関心を持つ事ができてとても良いと感じました。

- ・年間1000円の税負担があることは知っていたが、実際どのように使われているか把握している人、税そのものを負担している事を知っている人は意外に少ないと思う。もっと分かりやすく、身近に感じられる広報、PR活動が必要だと思います。県・市町村が実施するイベントは少々固く感じられ、寄り付きがたいイメージがあります。子供や女性に関心を持てるような企画をお願いします。
- ・森の動植物観察会の実践をしたい。
- ・税金という名のもとで強制的に集めるのはどうかと思います。
みなさんいろいろな形で税金を納付しているのですから、その中でやりくりをして、森林の方にもまわすべきだと思います。無駄な使い方をしている事業たくさんあるのではないのでしょうか？
- ・山火事も多く、その後の回復を知りたいです。花粉症でない杉に変えてほしいです。
- ・祖父が森林関係の仕事をしていたのでいい事はどんどん行ってほしいです。
- ・母校の裏に森林があったのですがソーラーパネルの設備をつくるのできられてしまいました。小学生の頃、探検したり思い出があったのでさびしそうです。ソーラーパネルも大事だと思うのですが子供達に自然をのこす大切さも教えてほしいです。
- ・県民にも税金の使い道をアピールしてほしい。
- ・「いわての森林づくり県民税」はずっと継続すべきだと思います。
- ・森林づくりはとても大切なことだと思うので、これからも税金でまかなえるところは継続した方が良いでしょう。
- ・小、中、高対象にして、森林の映画会をする。いろいろの集会でも行う。森林に関わるイベントを計画する。森林マラソンetc
森林整備についてですが山ぶどうの木や、タラの木コシアブラ等の木は残してほしいと思います。刈払った後に行つてがっかりしたことがあります。しっかり監督してほしいと思います。
- ・小学生の頃森林愛護少年団に入って居りました。公共の森林は皆で守るべきですが、森林所有者がいる森林は所有者が個々守るべきだと思います。(被災地以外の森林の場合は!!)
- ・広い県土に広大な森林があり、その整備に県税が使われていることを知りましたが、私有林も対象なのでしょうか。
松くい虫の食害にあった山や間伐ができない山がまだまだ見られます。
担い手育成や間伐材を活用する事、とても大切な事と思います。
- ・身近にできること、ゴミのポイ捨て禁止!今の小学生、大人もですが当たり前のようにポイ捨てしている。
ゴミの分別もそうだし、当たり前をできない人に森について問うのは?しかし、チューリップや桜、昔から住んでる方や心やさしい散歩の方がゴミ拾いしてくれている。地域で活動すること。
- ・森林環境保全に係る指導者、調整者の育成を考えるべきであると思う。
- ・いわての森林を守るため、県民税は必要だと思います。
- ・今まで「いわての森林づくり県民税」があるのは知らなくて、もう少しアピールというか広報?テレビなどお知らせしてほしいです。
- ・地区センター単位で森林環境の手伝いを希望します。
- ・「いわての森林づくり県民税」として1000円納付しているのだから、もっと何にいくらつかったとか、公開しては?県民、市民にこのいわての森林づくりを広く発信すべき。
- ・「いわての森林づくり県民税」を活用した取組の成果について(概要)を拝見して大変驚く効果があることを知りました。中でも間伐による森林環境の保全は特に大切な事業だと思います。お金がかかったとしても、お金では買えない二酸化炭素吸収効果や水源かん養機能の向上はこれからの岩手県をつくっていくためにも必要なことです。しかし、こういった取組のことは、なかなか知られていないのが残念です。もっとPRの方法が検討されることを願います。
- ・そのような活動をしているのを全く知らなかったのが参考になりました。
- ・先日、宮古山田地区で開催された「ふるさとの巨樹名木観察会」に参加させていただきました。その中で森林づくりの大切さを痛感いたしました。森林環境の改善や森林づくりへの取組を県民全体で考え、実行していければと思います。
- ・難しい問題やテーマですけど、今やらなくてはならない事なので(小、中、高、大)学校での教育はとても大切でしょう。力を入れて取り組んでください。
- ・取組の成果やこれから先の方向性は理解できましたが過去8年間でどれだけの税収で事業を行ってきたのか、また、これから先いくら予算が必要なのかかわからない面があります。

・十分な管理が行き届かず放置されている森林を開拓し、酪農地として利用するのは不可能だろうか。開拓・整備した元森林でいわゆる家畜(牛、豚、羊など)を放牧して飼育し、それらをブランド化する。そして、加工し、オンラインショップで販売できれば、雇用の創出、ひいては税収の確保につながるのではないだろうか。

・林業経営の集約(小規模経営体ほど意欲や生産性が低いため)、私有林を持つ不在村者への働きかけの強化、バイオマスやCLTの普及。

・用途を明確にしてほしい。税金を投入したなりの結果を出してほしい。

・今年はフジの花がきれいでした。そう言ったら、以前はフジが絡みつくと樹木が傷むのでまめに切ったものだが、今は手が回らず放置されているから、フジがきれいに咲く、という返事が返ってきました。いかに自分がものを知らないか、痛感しました。岩手に住みながら、森のことを知らない人達への啓蒙をお願いしたいと思います。

・問12のオカキクについては、費用対効果を検証して有効に活用してほしい。時に、担当者が義務的に漫然と前年踏襲型で予算消化する傾向が見られる。効果が少なく、良い代案がない場合は中止してほしい。

・私自身森林環境の取組に縁遠いので、ボランティアや体験教室などできる機会があれば積極的にやってみたいです。

・もっと多くの県民が参加する為の広報や、結果や成果を定量的に算出しているPRがあっても良いと思う。

・いわて森林づくりに 1000円負担がきている事を知らないでいる方は多いと思います。県民税・今まで詳しく考えた事はありますが 実際の使われ方を 県民に伝えていただきたいです。

・給料から税金を引かれていてこの税金を知らない人が多いのではないのでしょうか。第三者機関が妥当としたようですが、県庁の人達がこの税金ありきの考えで進められているように考えてしまいます。森林に対する意識は人それぞれでしょうけど、森林からの恩恵のようなものは県民全てが受けていると思うので、納める人納めなくていい人という区分けはおかしいのでは。私は非課税ですが、1000円程度であれば納めてもいいと思っています。

・この制度を活用して関連事業が行われている様子(看板等で)各地で見受けられますが、数年に渡り継続していない様に思われる。森林環境は長年かけて形成されると思うので、活動も長期に。

・自分の身近にある森林の草刈り等が容易にできる環境が大事だと思います。都度、役所の許可を得てからでは煩わしく手が出ません。

・最近頻繁に起きる山火事防止のため山菜とり、山歩きのときは禁煙の徹底、条例を決め違反者には罰則適用等対策を考える。

・間伐材等を薪として利用できるようなにつないでいただけるような仕組みづくりや呼びかけをしてみても如何でしょうか。

・森林に関する県単の課税は公共性を考えると大反対、本来は国が負担すべき事項であろうと思う。今後も県独自で課税を継続するなら将来は岩手県を脱出したい。

・国土保全や地球環境を守るためには一県民の負担で岩手だけで事業を展開するのではなく、国の予算で日本中の山林の活性化と荒廃を防ぐ施策を強力に図るべきです。